

グリーン調達、物流の取り組み

お取引先様と協力して、環境負荷の少ない原料の使用や、物流システムを進めるため、社内体制を整えています。

グリーン調達の考え方

東京エレクトロングループの中心事業である半導体製造装置事業では、装置の生産や販売を行う際、原材料や部品のほとんどをお取引先様から調達しています。このため、事業活動にかかわるすべての側面で、ビジネスとしても環境保全を進めていくには当社グループだけでなく、お取引先様の環境負荷低減活動が不可欠です。当社グループでは、将来は「環境面で一定の基準を満たしたお取引先様」に限定した資材調達をスタートする予定です。また、コンピュータ・ネットワークBUにて取り扱っている各種コンピュータシステムや高速ネットワークシステムにおいてもグリーン調達を推進していきます。

2001年度の取り組み

グリーン調達のための準備開始年度として、以下の項目を実施しました。

お取引先様の状況を把握するために、環境活動に関する調査書を作成しお取引先様に回答していただきました。調査書の回答をもとに各社を4段階にランク分けしました。

2002年度の取り組み

2001年度に引き続き2002年度は、基準を満たしていないお取引先様について、取り組みを進めていただくためのプログラムを作成しています。

具体策 お取引先様を教育するトレーナーを東京エレクトロングループ内に育てる養成プログラムを実施
毎年度、お取引先様自ら環境目標を設定し、達成に向けて努力してもらうための仕組み作り



グリーン調達ガイドラインでは化学物質、省エネルギー、包装・梱包、省資源・リサイクル、情報提供について基準と努力目標を策定

物流の取り組み

主力製品である半導体製造装置の多くは特殊仕様で、お客様によって製品の形が一台ずつ異なるため、梱包方法に工夫が必要です。また、納入が不定期であるため、家電品などで実施されているような「他社との合同便」や「倉庫の統合」による環境負荷低減策は難しく、当社グループからお客様への納入時に物流をどのように合理化していくのが大きな課題となっています。

一方、製品を構成する部品や素材の仕入れの面では、お取引先様から当社グループへの納品時に発生する環境負荷を、できるだけ低減するよう、お取引先様との協力を進めていきます。

お取引先様からの納品時の取り組み

お取引先様と協力して、緩衝材やエアークャップを回収し、再利用していただいています。また、移動の際に使用していたエアークャップ包装を廃止し、何度も使用できる保護カバーを採用しています。



何度も使用できる保護カバー

納品時の取り組み

従来パーツは、ダンボール箱に緩衝材とともに個別梱包して出荷していましたが、ミラーマット(高発泡ポリエチレンシート。軟質でクッション性に富み、断熱性、防水、防湿性に優れており、クリーン度も確保)を採用して、再利用可能なプラスチックダンボールに入れることにより、緩衝材を削減することができました。



ミラーマットとプラスチックダンボールで梱包